

**楽天FXセミナー【ネット開催】円高圧力と政治的円安・
1930年代の焼き直し相場の結末は！？（順張り・逆張
り有効な売買手法は！？）**

楽天FX主催のFXセミナー

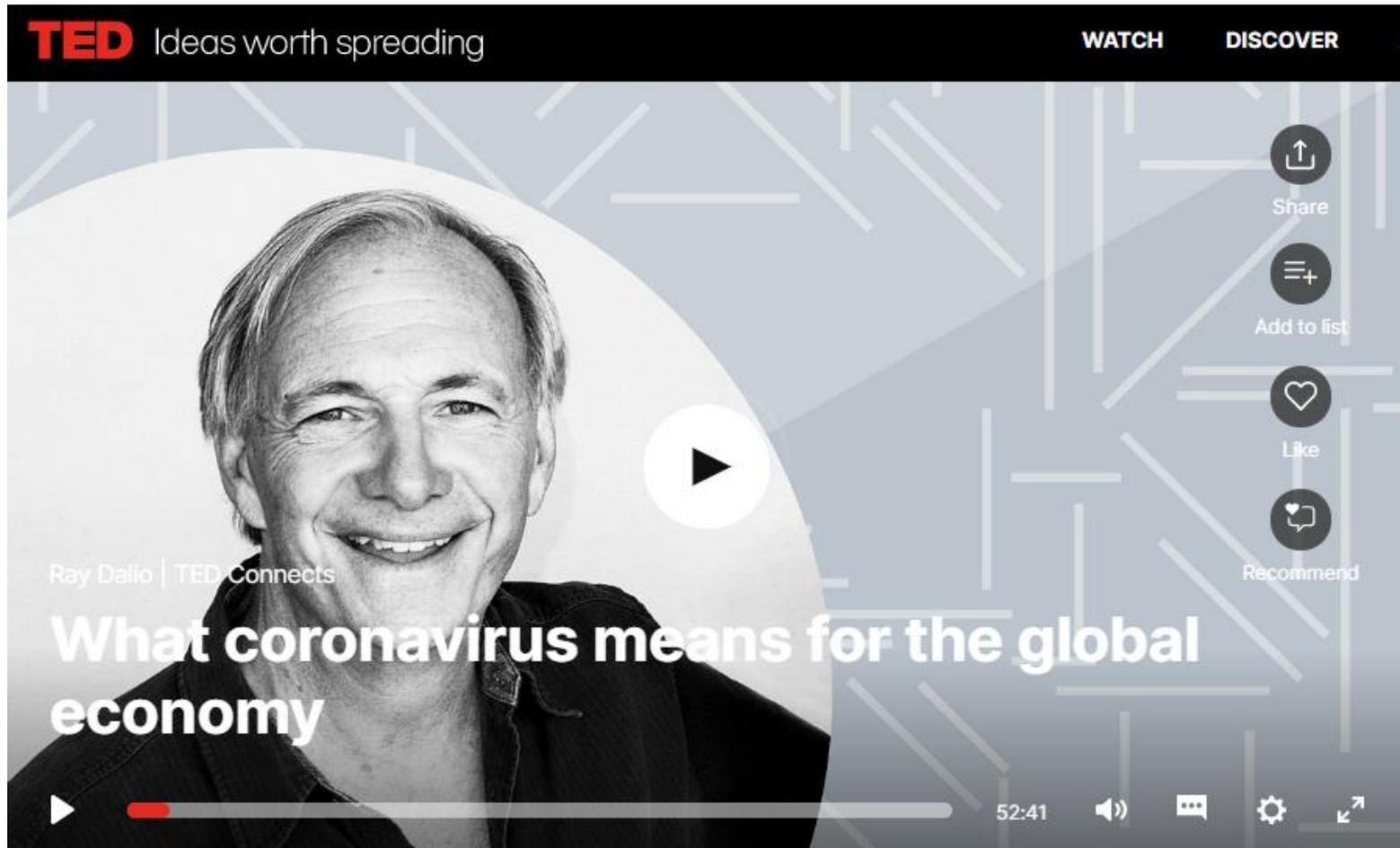
**[https://www.rakuten-
sec.co.jp/web/fx/?l-id=product-nav_fx](https://www.rakuten-sec.co.jp/web/fx/?l-id=product-nav_fx)**

5月28日（木） 18:00 – 19:00開催

**お申込みは不要です。時間になりましたら下記URLより
ご参加ください。**

<https://youtu.be/sTu-bf3pjJ0>

レイ・ダリオ TED Connects 「コロナウイルスが世界経済に与える意味」



https://www.ted.com/talks/ray_dalio_what_coronavirus_means_for_the_global_economy/up-next#t-144651

Ray Dalio TED Connects

そうだ、これは **不況ではない**。これは壊れたのだ。お金と信用を作るメカニズムが壊れたのだ。

Q:いま、世界大恐慌に向かっているのだろうか？

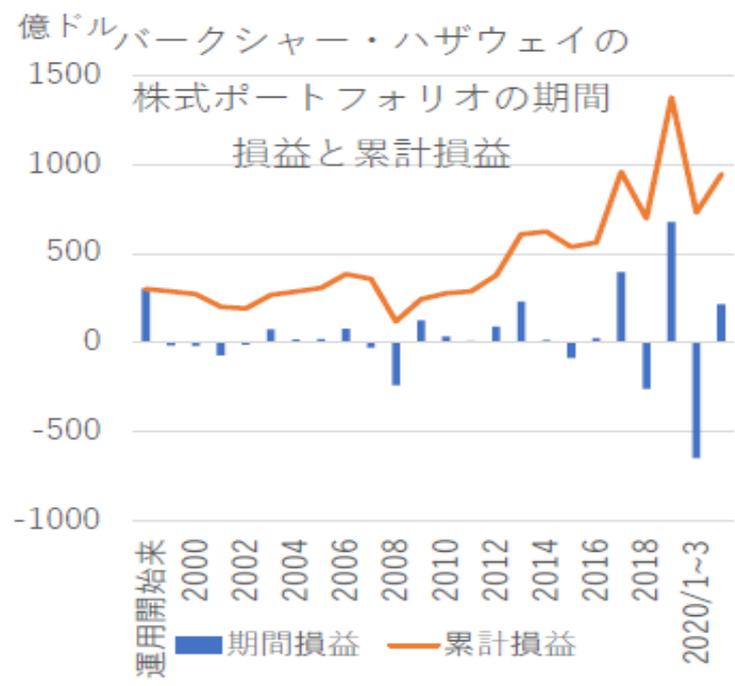
A:定義次第だが答えはイエスだ。大恐慌というのは刺激的な言葉だ。そしてものすごく怖い。大恐慌はどういう意味なのか？例えば1930年代に起きたこと。**1929年から1932年には経済が急降下した。失業は2桁で、経済の落ち込みは大体10%。その状態にあるということか？**答えはイエスだ。

1933年にどう対処したか？彼らがしたことは沢山のお金を刷り、政府は今と同じような政策を出してきた。利息はゼロ%、全く同じ動きだ。そしてそのお金が景気の拡大を引き起こした。株価が戻り(直前の)最高値を超えるのにどのくらいかかるか？**経済が前の最高値を超えるのにどのくらいかかるか？それは時間がかかる。今その状況にいるかと聞かれればそれはイエスだ。**

歴史的に何度も経験した。それには構造的な問題がある。**そうだ、これは 不況ではない。これは壊れたのだ。お金と信用を作るメカニズムが壊れたのだ。**

バークシャー・ハサウェイの株式ポートフォリオの 期間損益と累計損益 **損切りしないと後が怖い**

1～3月期に含み益の47%を失う



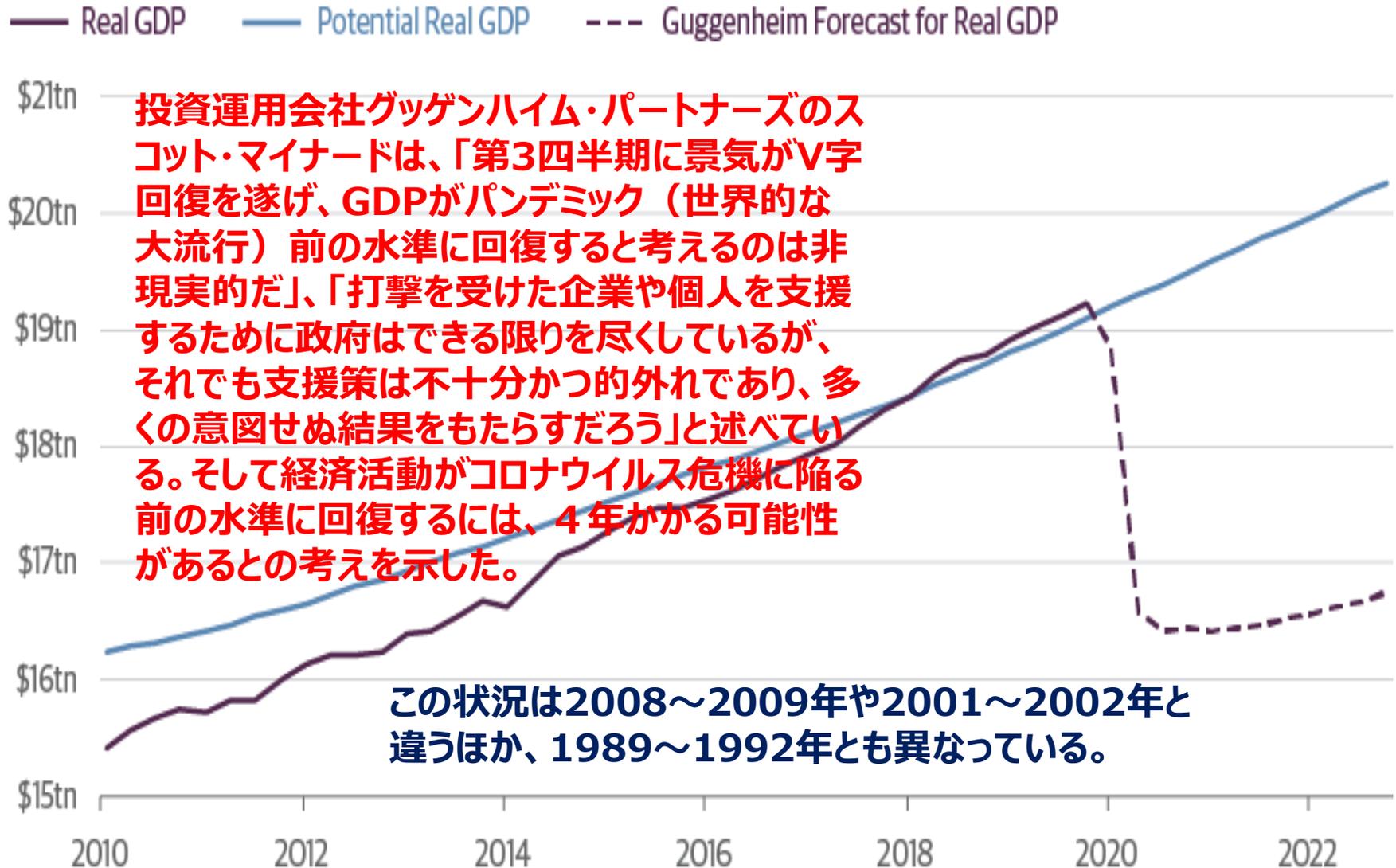
バフェット氏のベストピック15銘柄とワーストピック10銘柄		
順位	企業名	推定損益 (億ドル)
1	アップル	403.10
2	コカ・コーラ	166.89
3	アメリカン・エキスプレス	119.34
4	ムーディーズ	51.37
5	ウェルズファーゴ	43.27
6	フレディ・マック	38.28
7	ジレット	36.99
8	チャーター・コミュニケーションズ	27.86
9	ベリサイン	21.16
10	ウェスコ・ファイナンシャル	21.01
11	プロクター・アンド・ギャンブル	16.73
12	ディレクTV	16.53
13	GHC (ワシントン・ポスト)	14.57
14	パーリントン・ノーザン・サンタフェ	12.70
15	ウォルト・ディズニー	12.52
141	JPモルガン・チェース	-7.75
142	USバンコープ	-8.68
143	BNYメロン銀行	-8.82
144	ユナイテッド航空	-9.26
145	サウスウエスト航空	-10.99
146	アメリカン航空	-15.60
147	デルタ航空	-19.28
148	IBM	-21.89
149	バンク・オブ・アメリカ	-54.51
150	クラフト・ハインツ	-136.41

MAEDA@NIKKEI

17

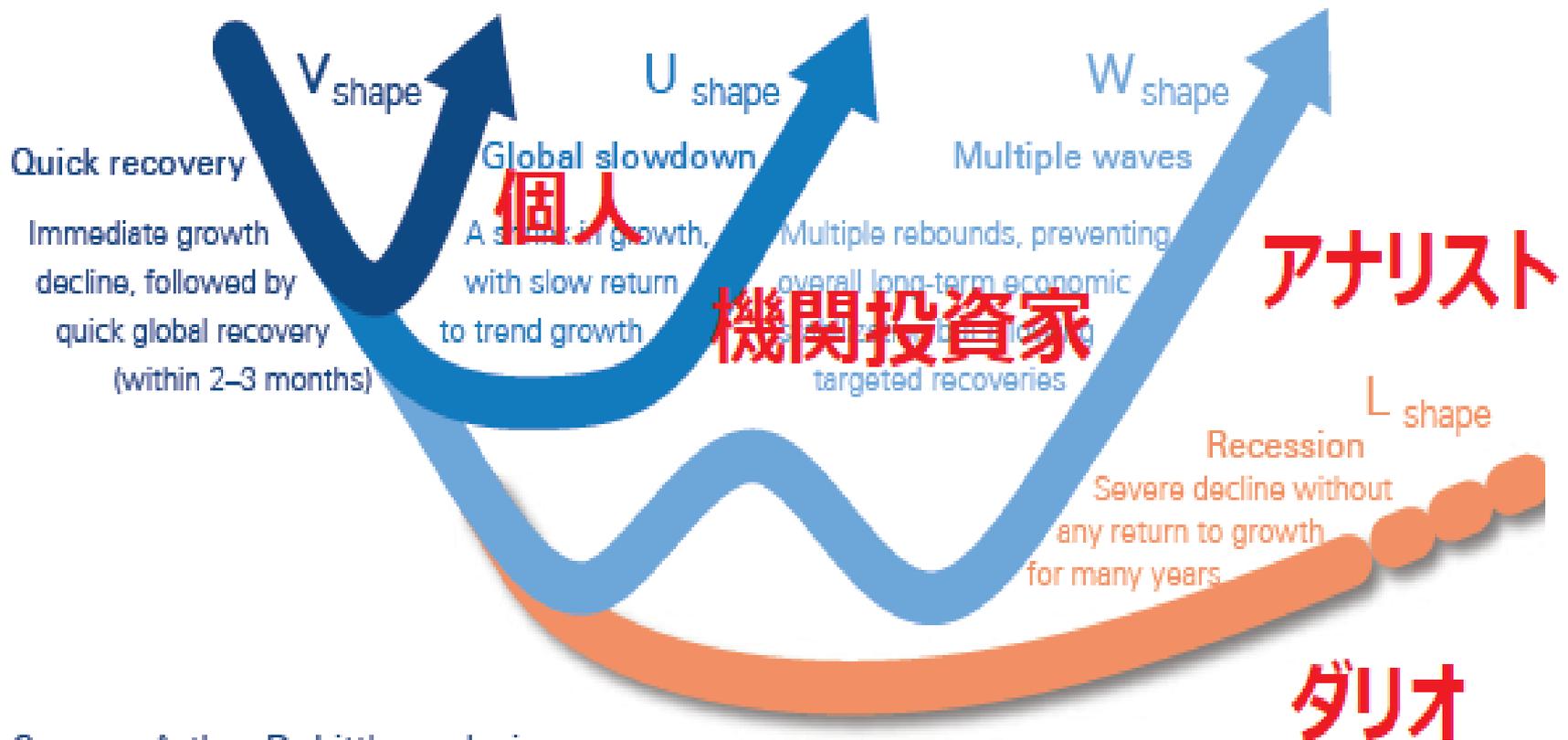
出所：日本経済新聞社 前田昌孝編集委員

経済のV字回復は起こりそうもない



株式市場はV字型だが实体经济は？

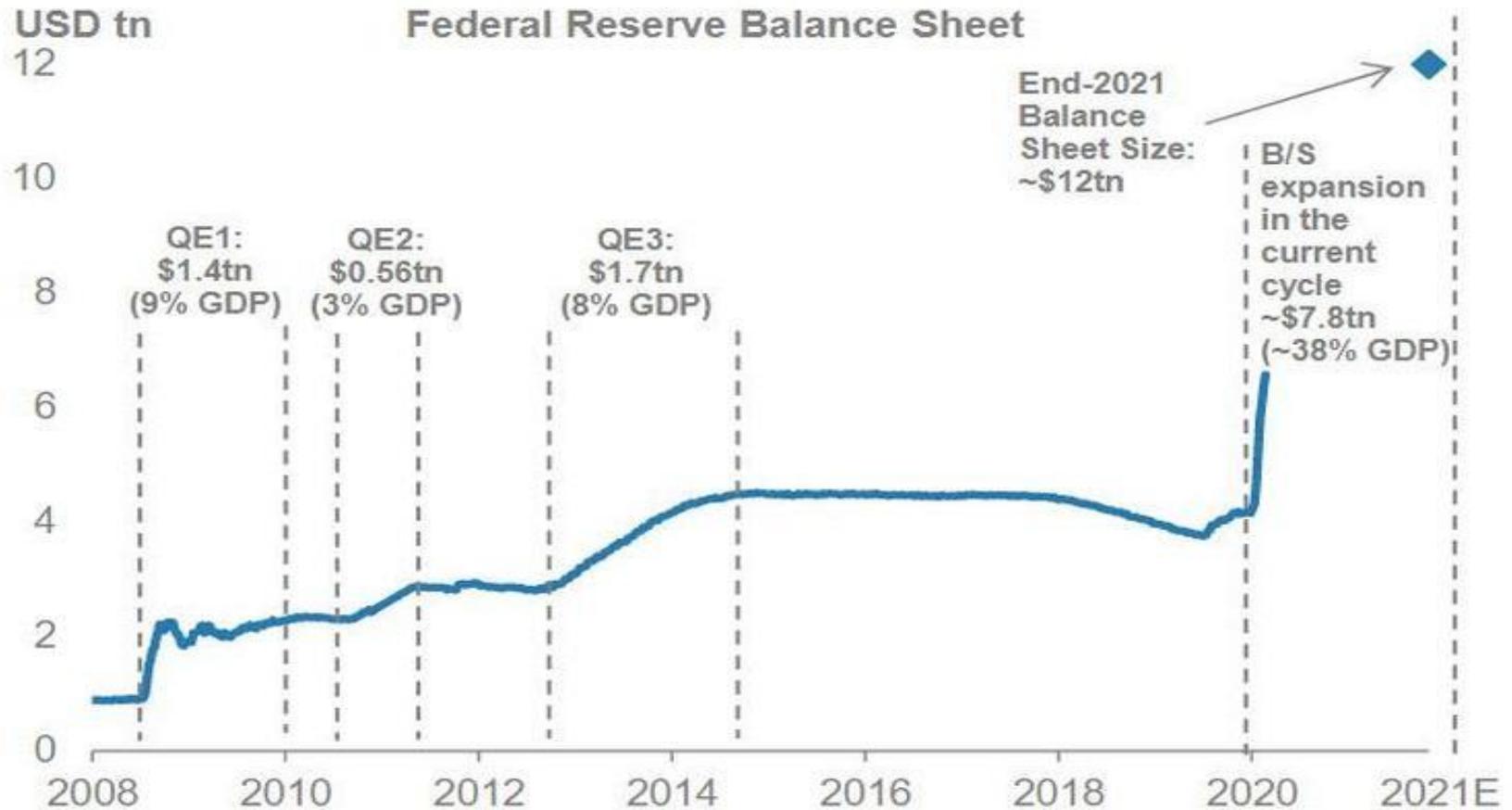
Four scenarios for economic development



Source: Arthur D. Little analysis

連銀のバランスシートの拡大予測

Exhibit 1: Fed's balance sheet to expand by more than QE1, 2 and 3 combined in this cycle



Source: Federal Reserve Board, Federal Reserve Bank of New York, Morgan Stanley Research

S&P500予測 (ゼロヘッジ 2019年4月1日)

「The Fed Guarantees No Recession For 10 Years, Permanent Uptrend For Stocks & Housing (Fedが今後10年リセセッションは起こらないと保証、永続的に上昇する株式市場と住宅市場)」

The Federal Reserve Guarantees No Recession or Decline in Stocks for Another 10 Years: SPX 5,600, take it to the bank, Baby!

「これから10年、株式市場はリセセッションも下落もないとFedが保証、S&Pは5600まで上昇する」



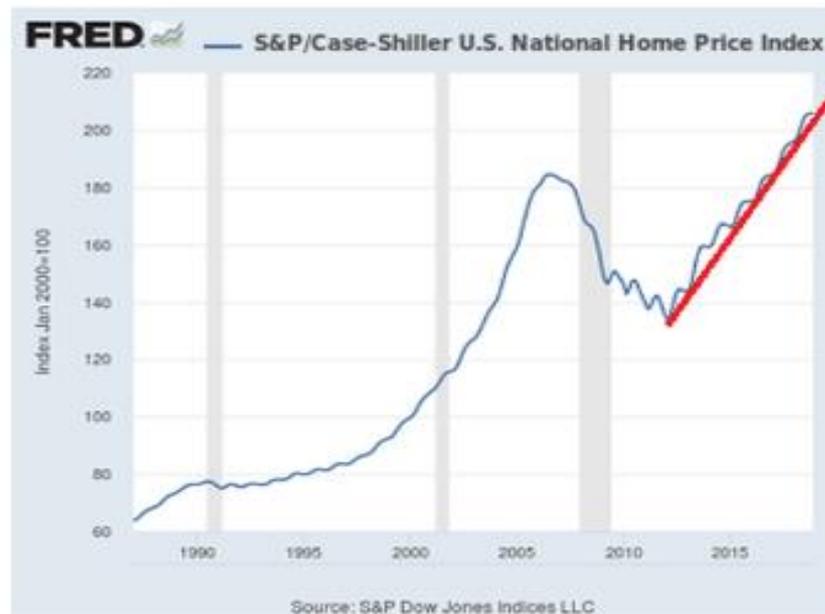
SPX chart: www.macrotrends.net commentary by charles hugh smith www.oftwominds.com 4/1/19

<https://www.zerohedge.com/news/2019-04-01/fed-guarantees-no-recession-10-years-permanent-uptrend-stocks-housing>

S&Pケースシラー住宅価格指数予測 (2019年4月1日 ゼロヘッジ)

住宅価格については「Fedは住宅市場が次の10年上昇するのみだと保証した、どんなあばら家でも100万ドル以上の価値が出るだろう、サンフランシスコに至っては500万ドル以上になるだろう」と。

The Federal Reserve Guarantees Housing Will Only Move Higher for the Next 10 Years: every hovel will be worth \$1 million or more; San Francisco hovels will be worth \$5 million: take it to the bank, Baby!



Case-Shiller
Index 420

2029

chart: FRED database commentary by charles hugh smith www.oftwominds.com 4/1/19

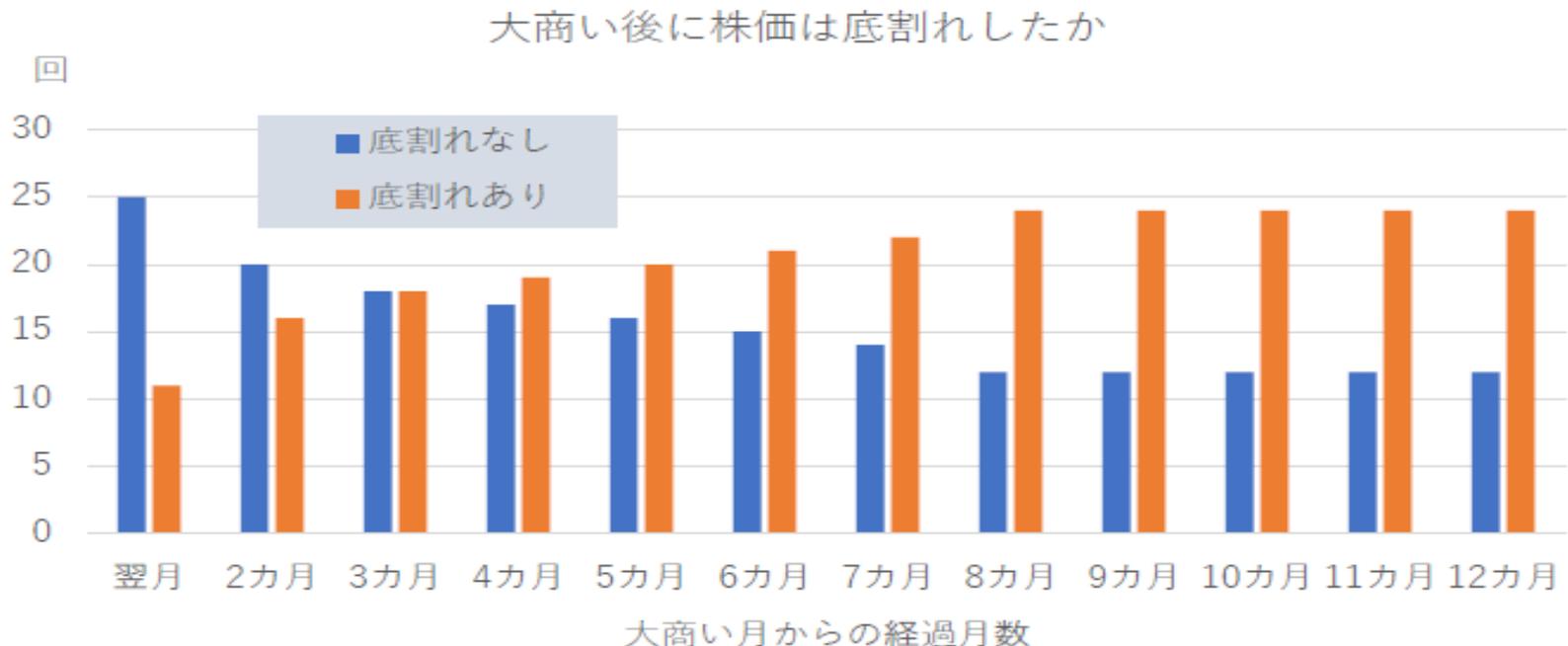
<https://www.zerohedge.com/news/2019-04-01/fed-guarantees-no-recession-10-years-permanent-uptrend-stocks-housing>

NYダウとドル建て日経平均の日足



2番底回避の可能性は3分の1程度

二番底回避の可能性は3分の1程度

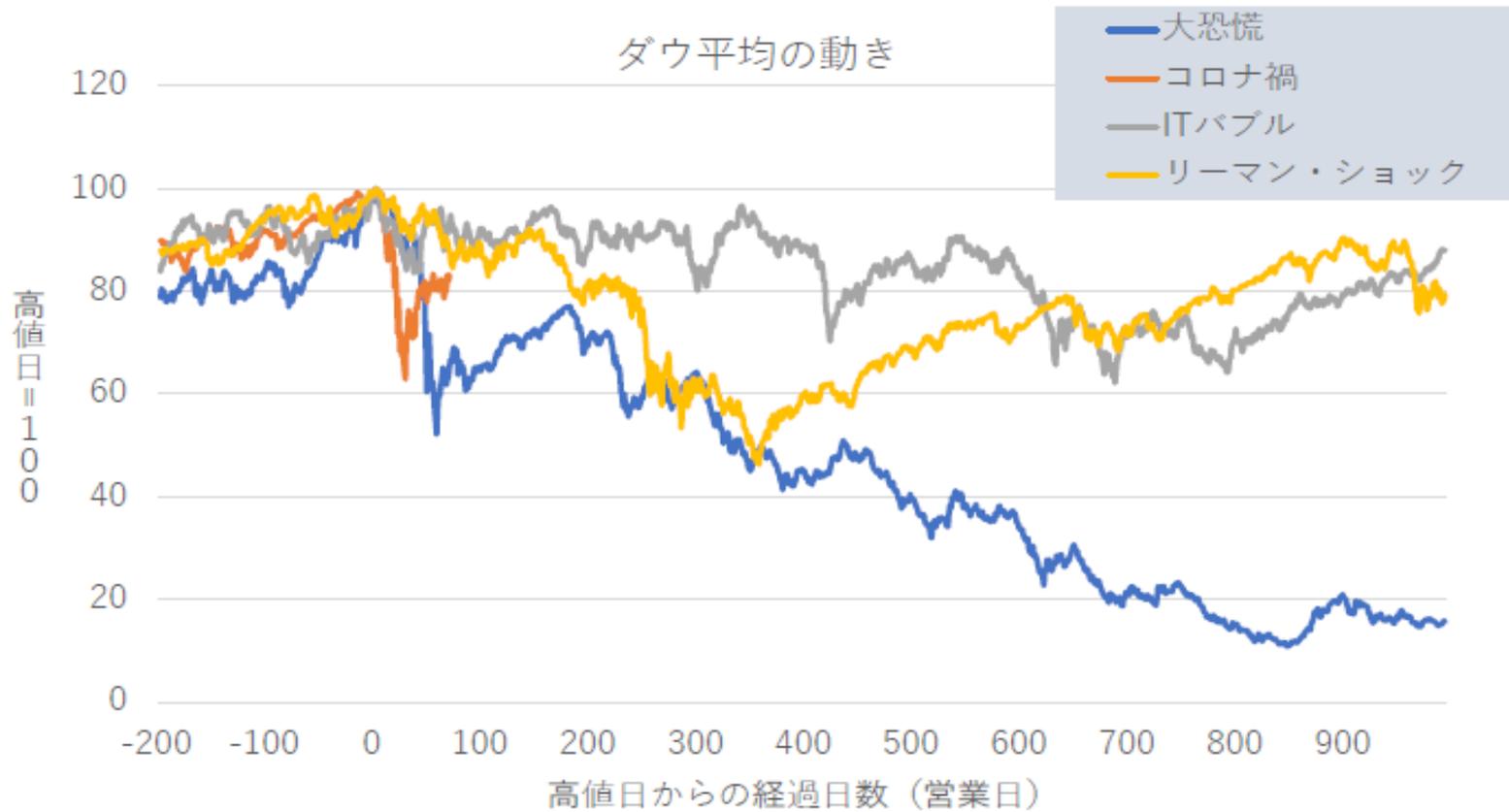


(注) 1985年以降の36回の大商い月を対象に集計。日経平均株価の日々終値の月間平均値が大商い月の平均値を割った場合に「底割れ」と考えた

人口減少社会の日本で、技術革新に全力投入する態勢を整えずに、どうやって経済を成長させるのか

- 投資家がリターンを確保するには、持ち株を自身の買値よりも高い株価で買ってくれる人が必要
- 企業の利益成長がなければ、より高く買ってくれる人は出てこない
- 経済が成長しなければ、全体として企業の利益成長は期待できない
- 人口減少社会の日本で、技術革新に全力投入する態勢を整えずに、どうやって経済を成長させるのか
- 世界で資本主義が揺らいでいるのは、プラスサムという前提が怪しいからではないか？

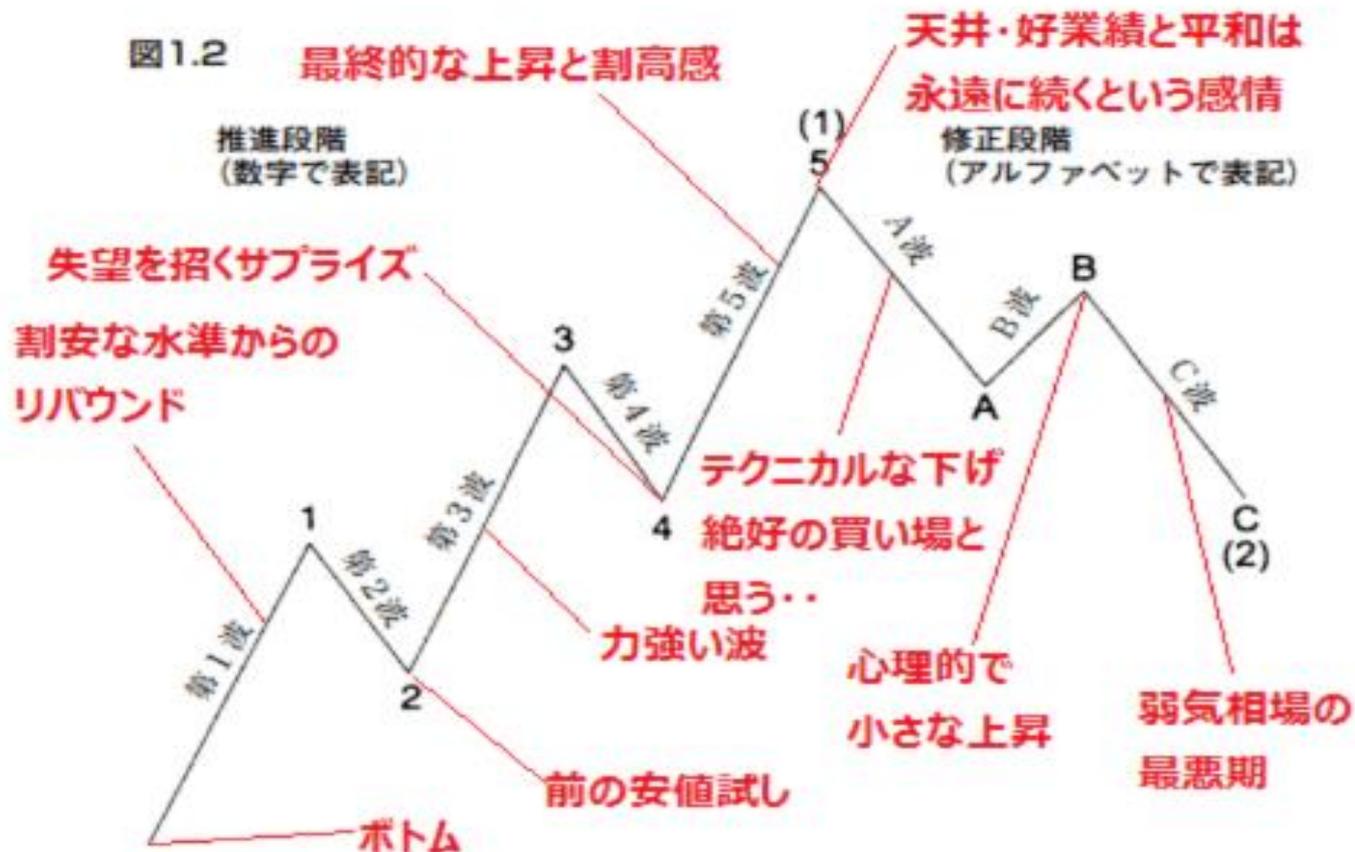
ダウ平均の動き



大恐慌時 = 1929年9月3日（381.17ドル）を100として指数化
今回 = 2020年2月12日（29,551.42ドル）を100として指数化

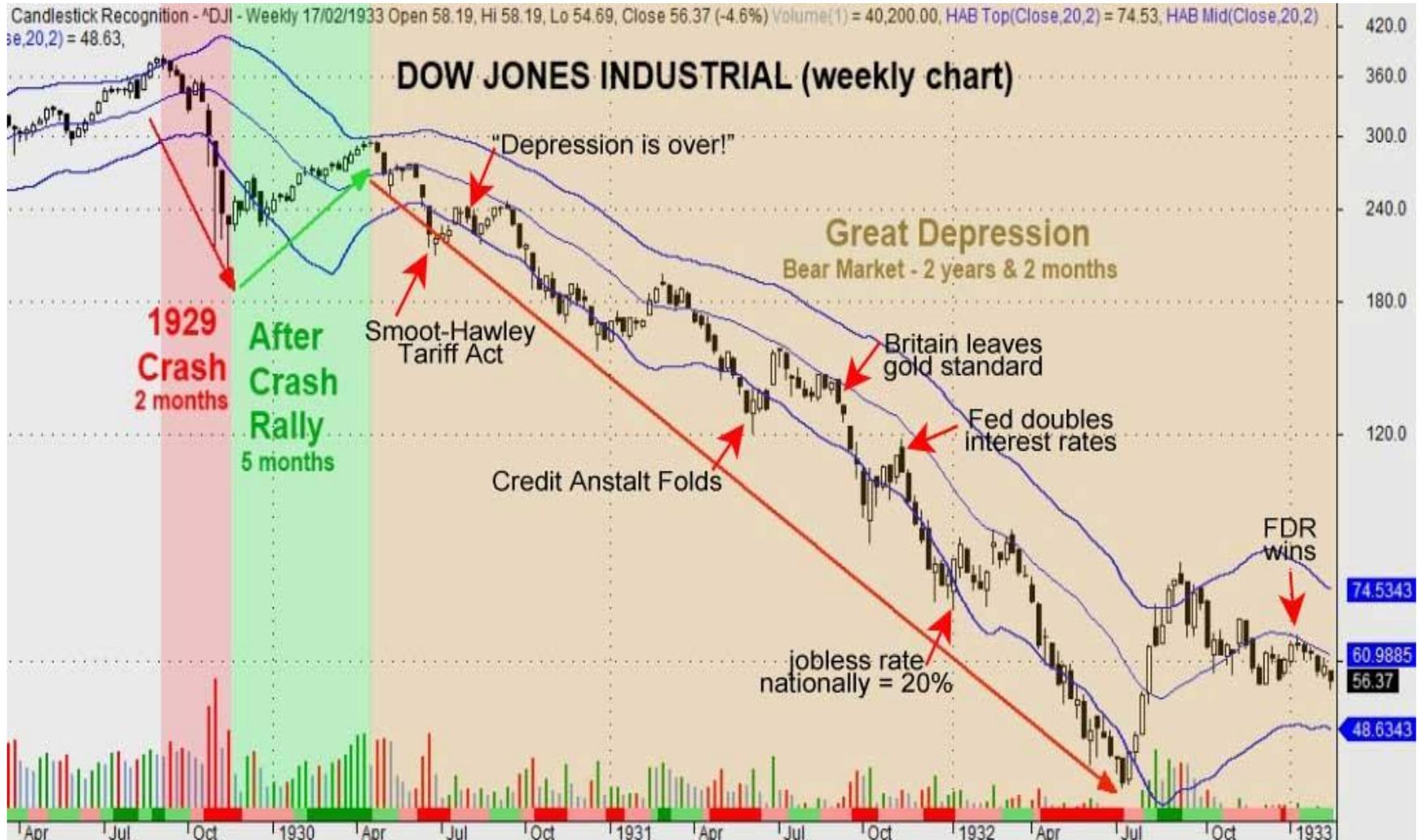
エリオット波動の基本と波の個性

エリオット波動の基本と波の個性



出所：『エリオット波動入門——相場の未来から投資家心理までわかる』（ロバート・ブレイク著 パンローリング）

1929年の大恐慌相場が底を打つまでの動きを読む・ 下げ2か月(A)⇒上げ5か月(B)⇒下げ2年2か月(C)



<https://worldcyclesinstitute.com/weve-been-here-before/>

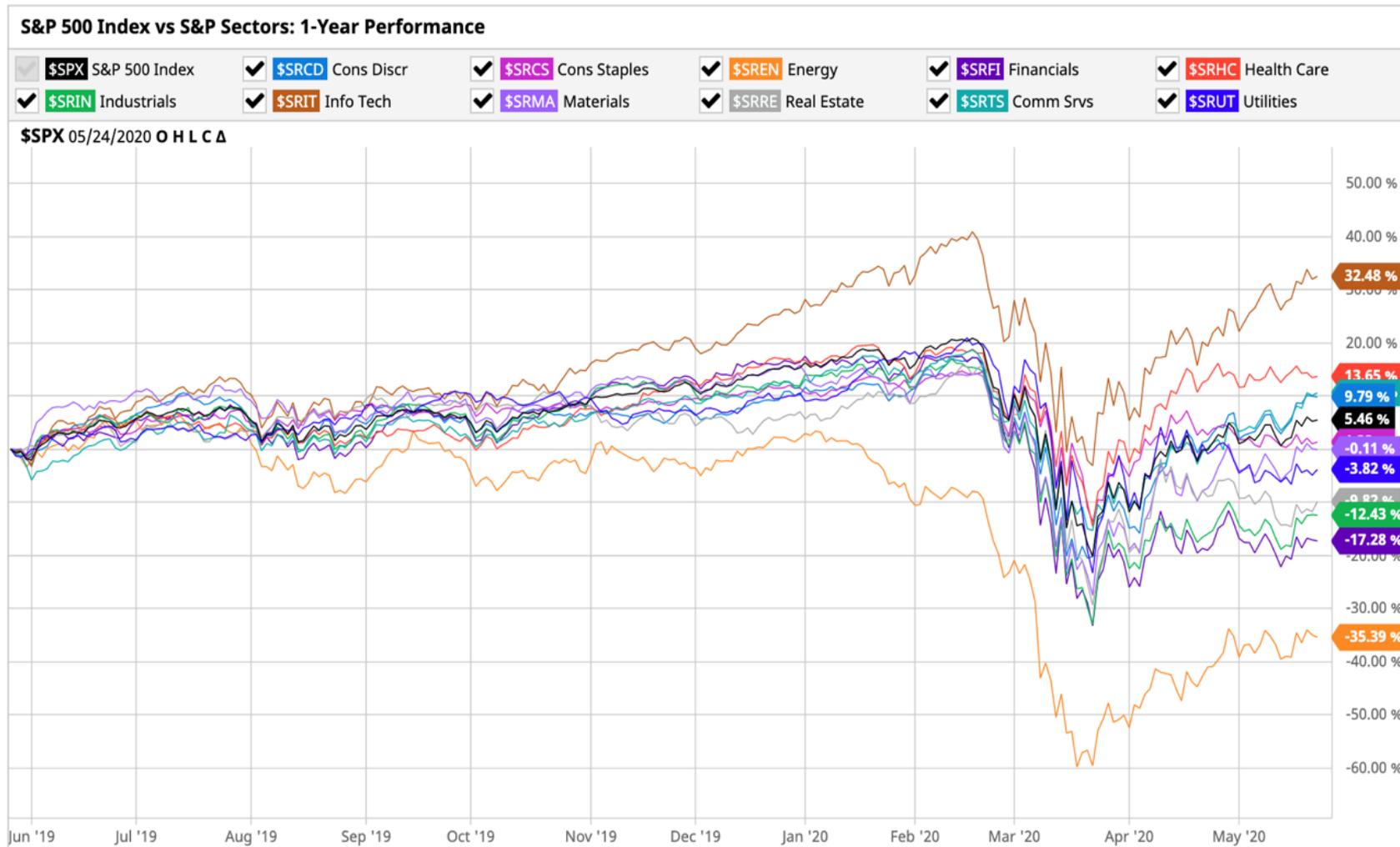
NYダウ (日足)



出所：筆者作成

S&P500とセクターパフォーマンスの比較

コロナバブルの勝ち組・負け組（2020年5月22日現在）



出所 : barchart.com

FAAMGとS&P500のパフォーマンス

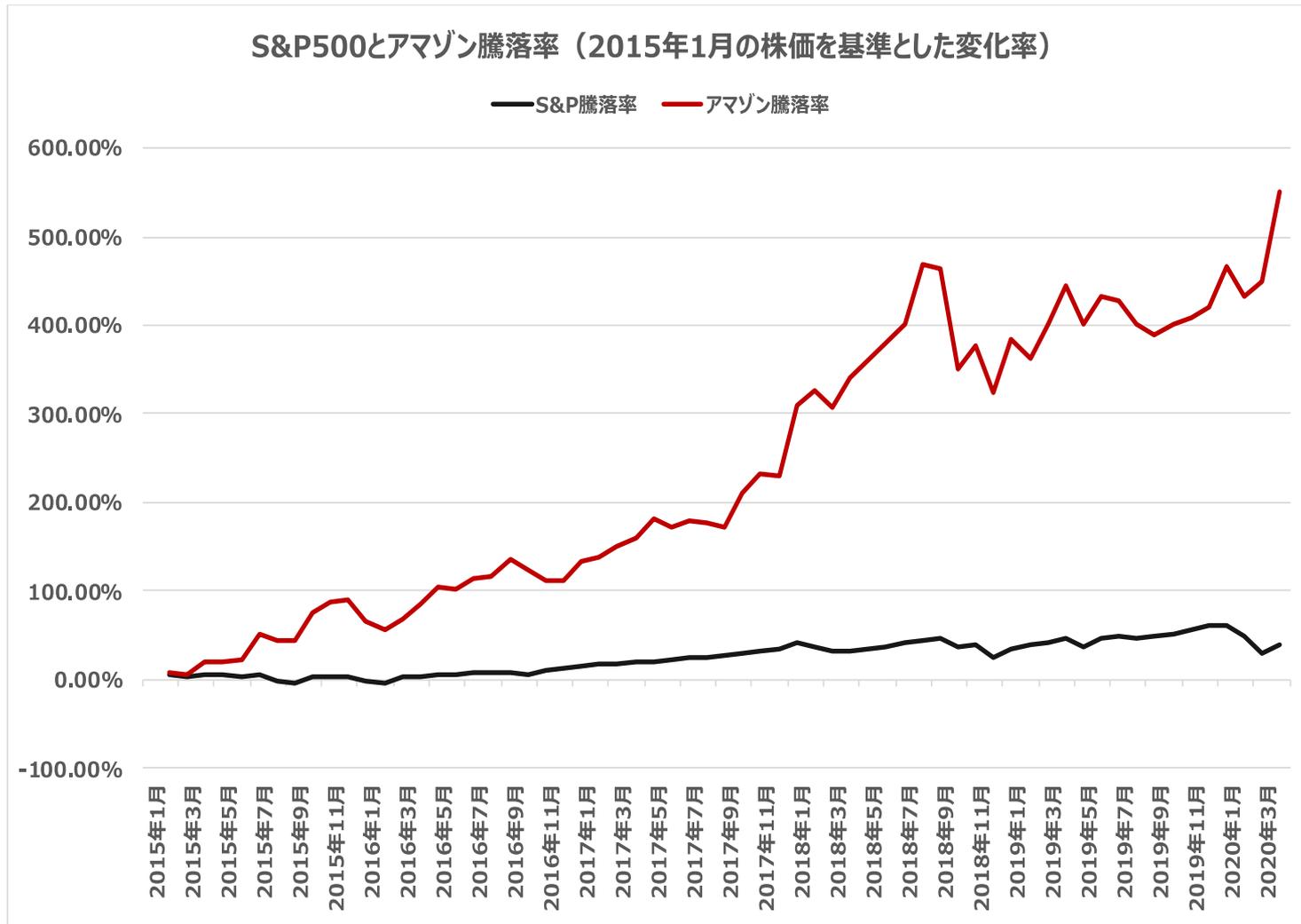
Exhibit 2: FAAMG has outperformed YTD; the rest of the index has stagnated
as of April 30, 2020



Source: FactSet, Goldman Sachs Global Investment Research

出所：ゼロヘッジ

S&P500 VS アマゾン 2005年1月～



出所：筆者作成

S&P500の1%に過ぎない5銘柄が、 時価総額では市場の20%を占めている

Chart 2: S&P500 now more concentrated in the 5 largest stocks than ever



Source: BofA Global Investment Strategy, Bloomberg



石原順のメルマガ マーケットの極意

石原順（著）
2018年11月発売

読者からの推薦



著名投資家たちの発言の要約や、複眼的な視点での現状分析が、俯瞰的に物事をとらえるために大変参考になります。(A.M様)



これまでレンジ相場でのたましに振り回されることが多かったですが、メルマガとフォローアップ講座等で、トレンドに乗りシグナルを活用して勝率を上げる手法を理解できました。大局観をベースに投資に取り組める重要な情報源。(H.J様)



マーケットのマクロ環境を分かりやすく解説。投資への向き合い方やタイミングも具体的に教えてくださるから。(K.T様)



ポリ्यूミーで実践的な情報が毎週送られてくるのに加え、たまに補講ビデオまであり、こんなコスパの高い情報源は他にありません。(T.T様)

ブログ『石原順の日々の泡』

<https://ishiharajun.wordpress.com/>

石原順の日々の泡

FX・株式・債券・先物市場分析

おすすめ

石原順（西山孝四郎）の出演番組・メルマガ・DVD・書籍

[石原順のメルマガ『マーケットの極意』](#)



<https://www.tradersshop.com/bin/showprod?a=15686&c=2011354800008>